

## 「農林技術アカデミー」第22回セミナーのご案内

八ヶ岳中央農業実践大学校  
校長 大杉 立

今年は猛暑が続いておりますが、皆さまは息災にお過ごしのことと拝察いたします。

八ヶ岳の麓に位置する本校もさすがに35度を超えることはありませんが、それに近い気温になる日が多くなっています。

さて、ほぼ4半期ごとに行われている農林技術アカデミーですが、ここに第22回セミナーをご案内いたします。今回は、「ニホンミツバチなど社会性ハチ類の驚くべき生存戦略と農業への応用」と題して、玉川大学農学部教授の小野正人氏にご講演いただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## 記

1. 日時：2024年9月7日（土）13時00分～15時00分
2. 場所：八ヶ岳中央農業実践大学校 第二教室  
長野県諏訪郡原村 17217-118
3. 方法：講演は対面（予定）、聴講は会場あるいはオンライン。
4. 講師：玉川大学農学部教授 小野正人氏
5. 演題：ニホンミツバチなど社会性ハチ類の驚くべき生存戦略と農業への応用
6. 参加費：500円

## 講演要旨

地球上の様々な環境に適応し多様な進化を遂げている昆虫類の中に、ヒトの社会とは全く異なる仕組みで成り立つ「もう一つの社会」を営むグループがいます。母親の女王バチとその娘の働きバチからなる血縁集団で構成され、階級制、分業制など「この手がありましたか!?!」と思わず叫びたくなるような社会性ハチ類の驚くべき生存戦略を紹介します。

とくにニホンミツバチが同所性の捕食者オオスズメバチに対して進化させた「熱殺蜂球」は、変温動物である昆虫が天敵の上限致死温度を上回る高熱を発して撃退する常識を超えた防衛戦略として、世界中から注目を集めました。社会性ハチ類は、さまざまな化学物質を使って複雑なコミュニケーションをとっていることも次々に解明され、その物質を農業に応用して作物の授粉を効率化する技術開発にもつながっています。

22世紀に生きる私たちの子孫へとつながる持続可能な食料生産・環境保全など社会性ハチ類の研究はSDGsにも関係するものと言えます。皆様の社会性ハチ類を見る眼が、大きく変わることを期待しています。

## 小野正人氏 プロフィール

1960年東京都生まれ。玉川大学大学院農学研究科資源生物学専攻博士課程修了（農学博士）。1988年玉川大学助手、講師、助教授を経て、2005年教授。2013年玉川大学農学部長/大学院農学研究科長/農産研究センター長。2019年から現在玉川大学学術研究所長（2023年研究推進事業部長兼務）。2013年から学校法人玉川学園評議員。2015年から（社）こどもの国協会評議員。2014年から日本学術会議連携会員。2020年から第27回国際昆虫学会議(ICE2024 Kyoto)組織委員会委員長、2013～2014年日本昆虫学会副会長、2021～2023年（一社）日本応用動物昆虫学会会長・代表理事、2022～2024年日本昆虫科学連合代表。2024年日本農学賞/読売農学賞、2022年日本昆虫学会論文賞、2004年日本応用動物昆虫学会学会賞、1996年環境賞、1990年井上研究奨励賞受賞。

参加希望の方は、以下にて、2024年9月5日（木）12時までにご連絡ください。

## 申し込み方法：オンライン参加の場合

- 1) 以下をご記入の上、[yatsunou1938@gmail.com](mailto:yatsunou1938@gmail.com) までご連絡ください。
  - ・お名前
  - ・ご所属
  - ・連絡先（電話/e-mail アドレス）
  - ・参加方法の別（会場/オンライン）
  - ・参加費支払い方法（郵便振替、ゆうちょ銀行振込、楽天銀行振込、PayPay 払い）
    - ※ 振込手数料はご負担願います。
- 2) 折り返し、登録受付の返信をいたします。  
併せて、参加費の振込先口座等をお知らせいたします。
- 3) 参加費のお振込みを確認後、視聴用 URL をお知らせいたします。

## 申し込み方法：会場参加の場合

- 1) 以下をご記入の上、[yatsunou1938@gmail.com](mailto:yatsunou1938@gmail.com) までご連絡ください。
  - ・お名前
  - ・ご所属
  - ・連絡先（電話/e-mail アドレス）
  - ・参加方法の別（会場/オンライン）
- 2) 折り返し、登録受付の返信をいたします。
- 3) 当日は、八ヶ岳中央農業実践大学校本館2階へお越しください。  
受付にて、参加費500円を現金にてお支払いください。  
手指消毒用品は用意しますが、マスクの着用は個人の判断でお願いいたします。